

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	つなげよう！人と技術と地域の絆事業
事業主体 (連絡先)	(公財)上伊那産業振興会 伊那市西箕輪 2415-6 電話 0265-76-5661
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	2,759,378円 (うち支援金: 2,181,000円)

事業内容

「地域の人材が地域で学び地域で活躍する風土を育む」ことを念頭に、将来の地域人材の育成と、県南信工科短期大学校（以下、南信工科短大）の人材、研究成果、設備などの知的財産の地域への活用、地域との交流促進を進め、「地域の人づくり」に焦点を当てたSDGsにつながる事業として実施しました。コロナのため蜜を避けた活動としました。

1、理工系人材応援フェス（人材ふれあいフェア縮小版）

- ・地域の企業を南信工科短大生や地域住民に知って頂くため、南信工科短大振興会会員企業毎の紹介パネルを制作し、南信工科短大キャンパス内に掲示。
- ・中学校部活動や高校の社会勉強と連携し、南信工科短大にて、教員や学生の指導で中学校では出来ないものづくりや実験を体験。
- ・学生や企業の技術者のモチベーションを高めて頂くための講演会を3回実施。
講師 信州大学長（当時）濱田州博先生、信州大学特別栄誉教授遠藤守信先生、長野高専古本吉倫先生
- ・ものづくり体験や南信工科短大の魅力情報を、Web 動画、リーフレット、SNS、ホームページにより発信。

2、環境出前授業

- ・環境問題や新エネルギーなどの大切さを学び、将来の社会を担う若い人材を育成する授業を、上伊那4小学校にて実施。

事業効果

- 1、南信工科短大の魅力発信や技術の地域への還元が出来た。
- 2、著名な講師による講演は、学生や技術者を勇気づけ、取り組みへのモチベーションを高めた。
- 3、小学生から高校生まで、将来の地域を支える人材に科学技術や環境の大切さを伝えることが出来た。
- 4、コロナ禍でも諦めずに規模を絞ってでも実行したことは、地域の元気と協働という気運を高めることが出来、また、新しい取り組み手法のスキルを培うことが出来た。

今後の取り組み

コロナ禍での取り組みで得たことも活かし、今後も発展継続させ、更に地域から期待される取り組みとしていくと共に、様々な活動とも連携し地域発展の結果を出すことを目指し、また、南信工科短大のキャンパスを地域全体に広めて行く。



小学生 環境出前授業



遠藤先生 講演会



中学生技術部 体験実習



高校生 体験実習



【目標・ねらい】

- ①地域の将来を担う若者たちに地域の様々な魅力を知ってもらおう。
- ②ものづくりや科学技術の楽しさを体感し、将来の進路を見つけてもらう。
- ③教育の拠点としての南信工科短大を知ってもらい、地域に生かす。
などにより、地域に住み続け地域を盛り上げる人材を育成すること。

自己評価【 A 】

【A】について

- ・コロナ禍の影響は大きかったが、事業への意欲を維持し最後まで実施した。
- ・新しい手法や対象にチャレンジできた。
- ・南信工科短大と中学、高校との新たな連携を見出すことが出来た。
- ・南信工科短大を発展させ地域の教育の拠点にする気運を肌で感じた。